

ボランティア相談員になるための研修

社会福祉法人 いのちの電話

助成事業の概要

本年度も、昨年度に引き続きコロナ禍による大幅な予定の変更を余儀なくされました。

ボランティア相談員の養成研修について、今年の養成研修も3密を避けるための広い研修室が必要となり、外部の会議室を借りることが多くなりました。また、研修の中断が多く、予定が大幅に変更になりました。

実施目的： コロナによる3密を避けるために、研修の会場を従来より広い会場で行うことになりました。

研修者が安心して研修を受けることができるように、外部の会議室で行うこととしました。

実施時期： 2021年5月開始予定だった養成研修は度重なるコロナ感染者急増を受けて、大幅に延期となりました。2021年9月より3期の開始となりましたが、さらに、2022年1月に再度の研修中断があり、キャンセルや予約の取り直しが発生しました。

内容等： 3密を避けるための広い会場で、研修に必要な各人のふりかえりや、思いを自由に語れる場所として、有効でした。初めて研修を開始した新しい研修者も、安心して取り組む様子がみられました。

事業の成果

従来行っている研修会場が3密を避けるために、使用不可能となりました。幸い、会場を外部に借りることができました。アルコールや消毒液、体温計の設備等が整っている中で、いつもの研修と何ら変わりなく、研修を続行させることができました。私たちの電話相談は、心が不安定であったり、複雑な環境を抱えている相談者が多いため、相談者の育成には、慎重で十分な心配りが必要です。そのために、研修の指導者は細かく神経を使うことが多いです。研修の担当者から、会場が安定的に提供されたため、コロナによる余計な心配をすることなく研修に集中できたことは、大変良かった、との感想をいただいています。養成研修を受け始めた方々も、コロナで研修がどうなるか心配したが、決まった会場で、じっくり研修に向き合うことができ安心した、とてもよかった、という感想をいただきました。研修事務を担う私たちも、緊急事態宣言の発出や解除で、キャンセル料の発生など、想定外の予算が必要となりました。日程の変更をご快諾いただき、大変助かりました。

成果の広報・公表

コロナ禍により、気持ちが不安定になったり、落ち着きが失われたり、持病が悪化した等々、私たちの電話相談の必要性がますます高まり、マスクの取材も数多く受けました。

電話がつながりにくい、という苦情も多くなり相

談員も大変ですが、一方で、電話相談を担うボランティアも高齢化が進み、コロナ禍により参加率が低下していることも事実です。そんな中、会場を借りるための助成金をいただいたことで、通常通りの養成研修が、延期はあったものの、継続できたことが、何より相談員を養成する機会を失うことなく、今後の継続した安定した活動の運営に寄与することと、ホッとしております。

■ 今後の展開

いのちの電話は、2021年度の東京都女性活躍推進大賞の特別賞を受賞いたしました。

また、昨年はいのちの電話の50周年を迎えました。

昨年からの研修の延期の影響で、予定されていた研修生の合宿の日程が変更になり、日帰り3日の研修となりました。また、2021年度秋からの研修にはいつもの倍以上の研修生、現在33名が引き続き外部の会場を使って、養成研修を続けております。

昨年度マスコミの取材が多かったために、私たちの活動に関心をもってくださいる方々が増えたようです。

今後もコロナが収束するかどうかは未定ですが、消極的になることなく相談員を増やすべく、引き続き研修担当も頑張っていく所存です。